

# コロナ禍による 大学図書館サービスの变化

りっとけん・DUALIS

# 団体紹介

## DUALIS

正式名称は同志社大学図書館情報学研究会です。

2013年設立の団体で、現在1回生から4回生まで約20名が所属しています。

今出川校地の新町キャンパス尋真館5の教室に集まって活動しています。

主に週2回の勉強会を行い、テーマを決めてブックトークを行ったり、司書もんを解いたりしています。

勉強会以外の時間にも自由におしゃべりしたり気ままに過ごしています。

みんなで(´ω´)(シヨボン)をかわいがっています。



# 団体紹介

## りっとけん(立図研)

正式名称は立命館大学図書館研究会です。文学部の自主ゼミナールとして設立されました。

現在、26名が所属しています。活動は週回、立命館大学の衣笠キャンパスにある

司書課程共同研究室で行っています。

コロナ禍以前は、オープンキャンパスでの図書館ツアー、図書館見学、イベント参加、合宿などをメインに活動していました。

コロナ禍でもzoomなどを活用して勉強会や、オンライン図書館見学、図書館クイズを行ったり、分類記号カルタを作成したりと幅広く活動を行っています。



# 研究内容

コロナ禍の大学図書館サービスについて、立命館大学、同志社大学それぞれが調査を実施。

対象時期:2020年～2021年10月

サービスは以下の4つに区分した

- ①入館・滞在について
- ②人的サービスについて(オンラインレファレンス、学生スタッフの取り組みなど)
- ③資料提供(郵送サービスなど)
- ④広報(上記3サービスの広報、大学図書館ガイダンスなど)

調査結果をもとに、ディスカッションとアンケートを実施し学生の意見をまとめた。

# 調査結果①入館・滞在(同志社)

## ○大学図書館の制限

2020年4月13日～5月24日:臨時休館

5月25日～:時間短縮、事前予約、貸出のみで開館

6月19日～:事前予約なしの入館開始

レファレンスサービス再開

9月24日～:通常開館

## ○ラーニングコモنزの利用

主にグループで話し合う際に利用している

個人での利用は少ない

## ○ラーニングコモنزの制限

図書館が時間短縮で開館再開し始めた時期と同じ頃に再開

入室時に体温測定、入退室時間を記録

パソコン利用時ナンバー札をもらう

# 調査結果①入館・滞在(立命館)

## ○大学の入構制限期間

2020年4月7日～:臨時休館

6月1日～:事前予約、時間制限、人数制限ありで開館

6月22日～:利用時間が2時間に変更

9月7日～:事前予約なしの入館開始

## ○ラーニングコモنزの利用

グループワークエリア、情報検索エリアなど個人利用からグループ利用まで幅広く対応

## ○ラーニングコモنزの制限※

2020年3月～利用禁止

夏秋～座席数の制限やマナー制限のもと開室

2021年3月～座席数の一部増加

(全体として、コロナ禍以前の約2%)

※情報提供元:立命館大学 図書館利用支援課(2021年10月現在)

## 調査結果②人的サービス(同志社)

### ○オンラインレファレンス

2020年から利用開始されているが、あまり利用していない意見多数

対面でのレファレンスも利用少ない

### ○学生ライブラリースタッフ

ラーニングアシスタント(院生スタッフ、レポートの書き方などサポート)

情報教室補助員(パソコンの基礎サポート)

学生補助員(パソコンの応用操作サポート)

## 調査結果②人的サービス(立命館)

### ○オンラインレファレンス

2020年4月:入力フォームによるウェブレファレンス開始

2020年6月:zoomによるオンラインレファレンス開始事前予約)

→現在まで継続して行われている。学内外問わず利用が可能

### ○学生ライブラリースタッフによるイベント

2020年:zoomによる講演会、講座などの実施がメイン

2021年:zoomによる講演会、講座に加え対面でのイベント実施も

例:オンライン講演会「withコロナの時代に、学生生活をどう生きるか」

学生ライブラリースタッフミニツアー、クイズラリー

## 調査結果③資料提供(同志社)

### ○電子書籍サービスについて

簡単にアクセスできるように改良され種類も豊富に

### ○図書館講習会(2020年度春学期は中止)

下級生向けの資料の探し方、データベースの使い方など

web上で学ぶことができるコンテンツも

### ○郵送サービス

5月12日～: 郵送貸出サービス開始、費用は大学負担

1人1回まで、1回につき3冊まで



# 調査結果③資料提供(立命館)



## ○電子書籍サービスについて

4月1日～:Maruzen eBook Library(丸善雄松堂社 電子書籍)試読サービスを開始、  
特設ページを開設

5月～:KinoDen(紀伊國屋書店 電子書籍)試読サービスを開始

## ○郵送サービスについて

5月11日からサービス開始

最大10冊まで、費用は大学で負担

大学図書館のMy libraryのページで予約可能

受取カウンターを選択してください。

受取カウンター:

次へ

- 平井嘉一郎記念図書館
- メディアライブラリー
- メディアセンター
- OICライブラリー
- 郵便(立命館大学学生用)
- 郵便(APU学生用)
- APUライブラリー

図書館サー

## 調査結果④その他図書館サービスの広報(同志社)

○同志社大学図書館のホームページ

○同志社の蔵書検索システムDOORS(ドアーズ)の下部にある図書館からの案内

○授業等の連絡を確認する個人のDUET(デュエット)からのメッセージ

→プラットフォームは少なめ

※2020年春学期、大学内入構禁止の時期の際、先輩の学生が個人で行う

Twitterからの発信が役に立ったという意見があった。



## 調査結果④その他図書館サービスの広報(立命館)

### ○HP掲載のガイダンス動画

従来のガイダンス動画に加え、2020年10月にコロナ禍における図書館の使い方を解説した動画が追加された

#### ・1回生向けの図書館の使い方ガイダンス

2019年度以前:対面実施

2020年度以降:オンラインが主流

### ○図書館からの情報を得るプラットフォーム、

図書館HP・学習支援サイト・Twitterが主流

特にTwitterは、大学からのコロナ関連情報をリツイートしていた

コロナ関係のツイートは2020年4、5、6月に集中している



# 大学ごとの特徴

	同志社	立命館
①入館・滞在	事前予約なしで入館可能: 2020年6月から PCコーナーの座席数半減	事前予約なしで入館可能: 2020年9月から ラーニングコモンズ: 2021年10月時点で、座席数は通常時の約32%に制限
②人的サービス	レファレンス対応: 対面で出来ないときは電話・メールで対応	○オンラインレファレンス ウェブフォーム入力による相談 →Zoomへ移行 ○学生ライブラリースタッフ イベント・講演会などを企画・実施 (オンライン)
③資料貸出	5月12日から郵送サービス開始	5月11日から資料の郵送サービス開始 4月からMaruzen eBook Library、5月からはKinoDenの試読サービス開始
④その他図書館サービスの広報	予約図書、図書の返却期限についての連絡: 学生個人の大学メールアドレスより、主な連絡は図書館HP	1回生向けのガイダンスはオンラインがメイン オンデマンド動画がリニューアル 図書館HP、学習支援サイト、Twitterと幅広く発信

## 学生の意見(ディスカッション)

- ・座席制限により、PC等端末が埋まっていた使えなかった
- ・郵送サービスの満足度は高かった
- ・低回生はレファレンスサービスがそもそもどういうものか、何を相談すればいいかわからない
- ・オンラインかつ時間制限があるので、質問を広げづらい
- ・立命館大学図書館の情報提供のプラットフォームは適切という意見が多かった
- ・(図書館)サービスがあってもサービスの内容自体が不透明だと利用がしづらい



# アンケートについて(立命館大学)

理由:コロナ禍以前の図書館サービスを利用していない1、2回生のほうが

3、4回生よりもコロナ禍の影響を受けていると考えたため

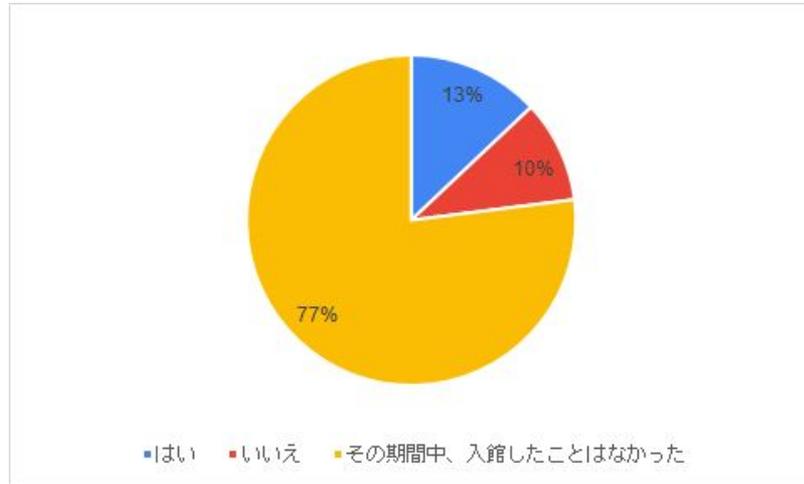
対象:立命館大学文学部の1、2回生110名(2020年度以後入学)

収集結果:87名

教養科目「メディアと図書館」受講者の皆さんにご協力いただきました。

厚く御礼申し上げます。

2020年6月1日から9月6日までの事前予約必須期間中、  
入館や事前予約の方法がわからなくて困ったことはありますか？  
(2回生限定)

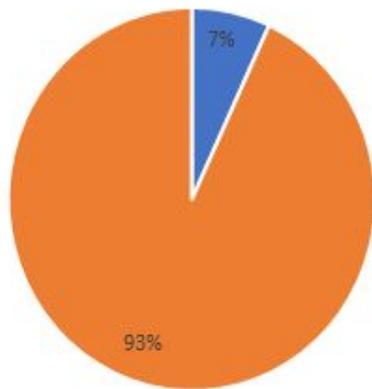


13%:はい

10%:いいえ

77%:その期間中、入館したことはなかった

## 大学図書館のオンラインレファレンスサービス (Zoom、メール等)を利用したことがありますか？

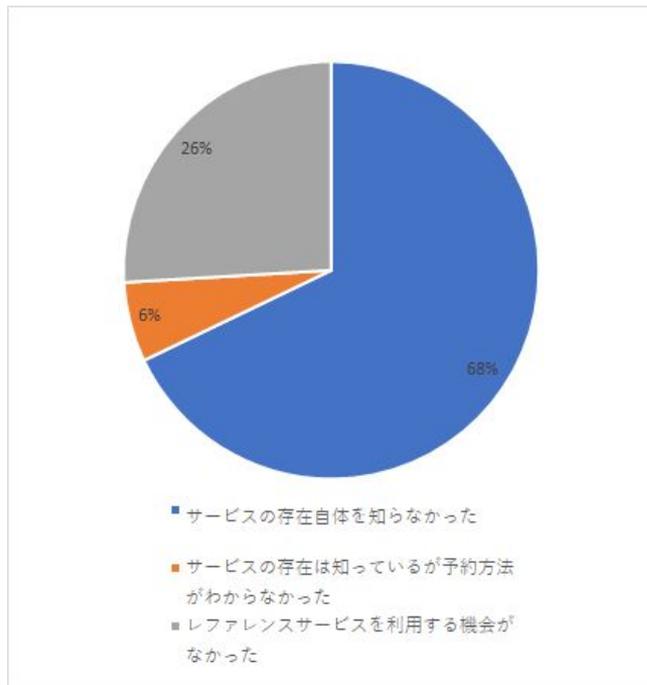


7%:はい

93%:いいえ

1・2回生のオンラインレファレンスの利用率は  
かなり低い状態にある。

## オンラインレファレンスを 利用しなかった理由はなんですか？



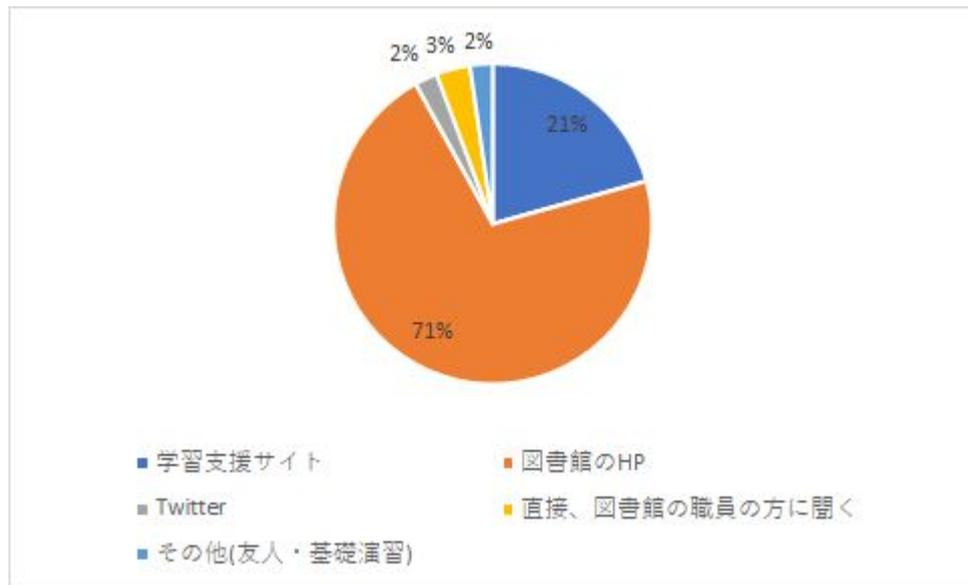
68%: サービスの存在自体を知らなかった

6%: サービスの存在は知っているが予約方法  
がわからなかった

26%: レファレンスサービスを利用する機会が  
なかった

過半数がサービスの存在自体を知らなかったため、  
サービスを利用しなかった。

## 立命館大学図書館についての情報を得るために、一番使用していたものは次のうちどれですか。



71%: 図書館のHP

21%: 学習支援サイト

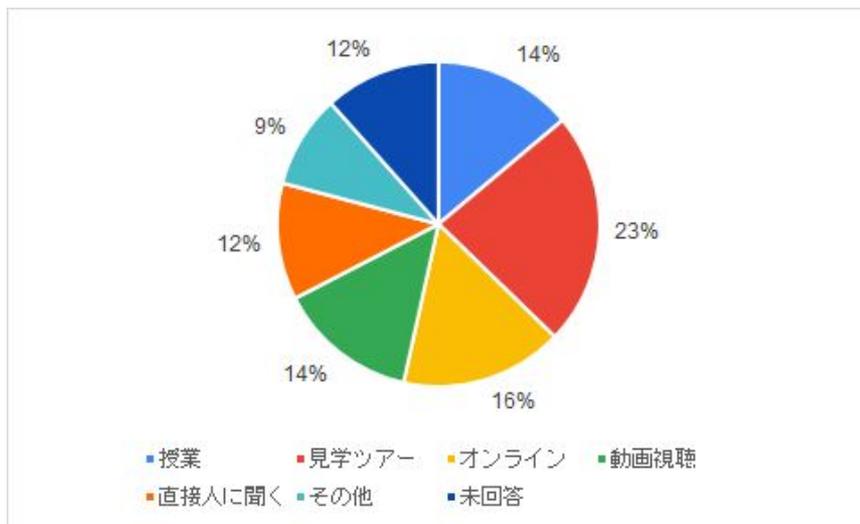
3%: 直接、図書館の職員の方に聞く

2%: Twitter

2%: その他(友人・基礎演習)

大半が図書館のHPを利用して情報得ているとの結果が出た。

# 1回生で受けた図書館利用ガイダンスの形態はな んでしたか？



14%: 授業

23%: 見学ツアー

16%: オンライン

14%: 動画視聴

12%: 直接人に聞く

9%: その他

12%: 未回答

# まとめ

コロナ禍の影響を受け、大学図書館のサービス実態は大きく変化した。

特に学生数も多く、図書館自体の規模が大きい同志社大学・立命館大学では  
郵送サービスやオンラインレファレンスをはじめとして、様々なサービスが展開された。

しかしながら、利用者アンケートの結果からもわかるように、

低回生の大学図書館のサービスに対する認知度はかなり低い。

また、ディスカッションではサービスの利用のきっかけがつかめないという意見も多く見受けられた。

長期化・常態化しつつあるコロナ禍の中で、

大学図書館はサービスの周知徹底、ならびに学生が大学図書館を利用するきっかけ作りを  
積極的に行う必要がある。

# 出典

## [同志社]

- ・同志社大学今出川図書館職員への問い合わせ
- ・フリーペーパー Sho Jaku Kan vol10

## [立命館]

- ・立命館大学平井嘉一郎記念図書館  
[立命館大学図書館 | Ritsumeikan University Library](#)
- ・立命館大学図書館利用支援課